

令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 授業改善推進プランの検証

(1) 成果

自分の考えや思いを伝え合う活動を多く取り入れている。5、6年生では、英語で会話をするパフォーマンステストや人前で話すスピーチテストを導入することにより、英語に慣れ親しむことができ、「聞く」「話す」ことに対して苦手意識をもっている児童が少なくなってきた。

(2) 課題

【低学年】

- ・日ごろから英語に触れていない児童がいるので、児童の発言やつぶやきを聞き、授業を組み立てていく。多くの児童が興味をもって取り組めるよう、工夫する。
- ・英語で話すことに慣れていない児童がいるので、みんなで英語で歌ったり、ゲームをしたりして、楽しみながら取り組めるようにする。

【中学年】

- ・教科書を使っての英語の学習に慣れていない児童がいるので、指示はゆっくり、細かく出し、多くの児童が取り組めるようにする。
- ・3年生でアルファベットの大文字、4年生でアルファベットの小文字が出てくる。その単元の学習の時だけではなく、多くの機会に触れることができるようにし、5年生になる頃には、文字の形と音が一致するように授業を工夫する。

【高学年】

- ・既習事項の積み重ねができていない児童がいるので、新しい単元に入った時は、復習を取り入れ、多くの児童が意欲的に取り組めるように授業を工夫する。
- ・英語で話すことが恥ずかしいと思っている児童がいる。自信をもって英語で話すことができるように、学期の最後には人前でのスピーチを設定し、目標をもって授業に取り組めるようにする。その際、よいところを具体的に伝え、自信をもって、英語で伝えることのできる児童を育てる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※◎…目標値を上回った ○…目標値と同程度 △…目標値を下回った

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	/	/	/
第5学年	/	/	/
第6学年	◎	◎	◎

(2) 分析（観点別）

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。	・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。	・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。
----------------------------	----------------------------	----------------------------

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年(大田区外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの外国語活動につながるように、扱うテーマを考え、楽しく、意欲的に学習に取り組めるようにする。(学習計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらどうか考える習慣や、自分について伝える活動を取り入れ、自分事として取り組む習慣を身に付けるようにする。(学習構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトを取りながら英語で相手の話したことを聞いたり、相手が分かりやすく英語で話すことの大切さを指導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(学習構成)

(2) 中学年(外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し練習し、数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものの英語での言い方を理解できるようにする。(学習構成) ・冠詞(a)について、2つ以上の時は複数形になる(～s)ということ指導し、定着するようにする。(学習構成) ・アルファベットの指導では、文字の形と音が定着するよう、様々な場面で取り上げていく。(学習構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものを英語で表現できるようにする。(学習構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトを取りながら、英語で相手の話したことを聞いたり、相手が分かりやすく英語で話すことの大切さを指導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(学習構成)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用したり、ゲーム的活動を取り入れたたりし、既習表現を繰り返し使うことにより慣れ親しみ、自由に使うことができるようにする。(学習構成) ・自分の思いや考えに近い言葉を英語で書く際、4線上のどこに書くか適宜指導することにより、多くに児童が正しく書くことができるようにする。(学習構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かし、自分事と考え、英単語だけではなく、文で自分の思いや考えを自由に表現できるようにする。(学習構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末にクラスみんなでスピーチをする場を設定し、既習事項を生かし、英語で主体的に伝えたり、聞いたりさせる。(学習構成)